

第21回 リフト・フェア2025 講演会

今回の講習は、**介護リフトが今年度より「介護テクノロジー補助金」対象**となりました。これまでの経緯とこれから期待されることについてシルバー産業新聞の堀田様にご解説いただきます。是非、聴講されることをお勧めいたします。

会 場: 新宿第一生命ビルディング 19F 13:30～15:00 (予定)
東京都新宿区西新宿2-7-1 (公財)東京都福祉保健財団 研修室

講演会テーマ

「介護テクノロジーとしてのリフト活用

～職員にも、利用者にも優しいリフトケアへの期待と求められること～

講 師: 堀田 護 氏 (株)シルバー産業新聞社 編集部

日 時: 8月2日(土) 13:00 開場 13:30 開演

参加者募集

申込不要 入場無料

2025年度、厚生労働省は介護テクノロジー補助金対象となる「**移乗支援（非装着型）**」「**排泄支援**」「**入浴支援**」の各分野で**介護リフトも補助対象**とすることを決めました。介護職員の働きやすさ・負担軽減と利用者のサービスの向上（快適性）が両立できる機器として、これまでのセンサー系やICTだけでなく、介護リフトの果たす効果を「介護テクノロジー」の一翼として高く評価したものです。

介護施設にとっては介護リフト導入に補助金を受けられることになりますが、同時にこれは「**導入を皮切りに、安心安全に活用できるように一丸となって取り組み、より良いケアに高めていく**」という**伴走型支援（PDCA）**が求められることでもあります。メーカーや販売者を含め、**リフトを活用することができるのかが試される**ようになります。今年度からの補助対象化はスタートであり、ゴールではありません。その先には施設と在宅の両方で、また、高齢者と障害者（児）の枠を超えて、すべての人のためのより良いケアを目指すことが重要です。

国は、来るべき**2040年時点**で**57万人**の介護人材増（**2022年215万人**を基準）が必要とされる中で、その達成のために介護テクノロジーのフル活用も併せてニーズにこたえていくことを目指しています。

これまでの経緯とこれから期待されることについて解説していただきます。



お問合せ: JASPA介護リフト普及協会
事務局 株式会社ミクニザイマス
担当 岡田

お問い合わせは、メールかTELで

Mail t_okada@mikuni.co.jp

TEL 03-3833-0395

主催: JASPA介護リフト普及協会 後援: (公財)東京都福祉保健財団